

# 環境報告書

2018

Environmental Report

DYNIC CORPORATION



ダイニク 株式会社

# 目次

ごあいさつ P.1

会社概要 P.2

環境基本方針 P.3

環境中期目標 P.4

環境負荷低減の取り組みと実績 P.5~P.8

地球温暖化・省エネルギーの取り組み

省資源・廃棄物削減の取り組み

●水資源の有効活用

●廃棄物削減の取り組み

化学物質排出削減の取り組み

マテリアルフロー P.9

環境関連商品 P.10

2017年度環境活動 P.11~P.15

環境負荷低減のために

地域とともに

---

## ごあいさつ

---

### ダイニックは、製品の開発から廃棄まで 常に環境保全を考えた企業活動を推進しています。

暮らしを「豊かに」そして「快適に」彩ることがダイニックのテーマです。

ダイニックの全従業員は、住みよい地球に向かうための環境基本方針を常に心掛け、技術と環境との調和を踏まえた、環境にやさしい企業活動に日々努めております。

私たちダイニックでは高効率型の蒸気ボイラー、空調機、冷凍機等の省エネルギー設備の導入や、ヒートポンプの活用による蒸気使用量削減と電力消費抑制などの省エネルギー活動を行っています。また、滋賀工場内にある天文台「アストロパーク天究館」では多賀町から委託を受けて町内の小中学生による「多賀町アストロクラブ」を運営して、天体観測と共に環境啓発活動も行っています。さらに今年度より当社が重要と考える環境指数について、中期目標（2018年度～2020年度）を設定し、その達成度合いをこの環境報告書の中で公表していきます。

今後も信頼される企業であり続けるために、次世代に向けて、全従業員が一丸となって環境対策への取り組みを強化し、地球環境と生活環境に配慮した環境関連商品の開発に取り組み、地球環境保全の実現に貢献する企業活動を推進してまいります。



平成 30 年 8 月

ダイニック株式会社  
代表取締役社長

大石 義夫

## 会社概要

商号	ダイニック株式会社 DYNIC CORPORATION
創立	1919年8月18日
資本金	57億9,565万円
株式	東京証券取引所一部上場
売上高	278億円(グループ含み400億円) (2018年3月31日現在)
従業員	600名(グループ含み1,392名) (2018年3月31日現在)
本社	京都本社:〒615-0812 京都市右京区西京極大門町26番地 電話 075-313-2111(代) FAX 075-313-2116
	東京本社:〒105-0004 東京都港区新橋6-17-19 新御成門ビル 電話 03-5402-1811(代) FAX 03-5402-3146
営業所	札幌、東京、名古屋、大阪、福岡、香港、シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア(グループ含む)
工場	滋賀、埼玉、王子、富士、真岡、シンガポール、米国、タイ、英国、中国、インドネシア(グループ含む)
関連会社	国内6社、海外10社
事業内容	書籍装幀用クロス、印刷・ビジネス用各種クロス、パッケージ用化粧クロス、銀行通帳用クロス、フィルムコーティング製品、表示ラベル用素材、複合フィルム、プリンターリボン、名刺プリンタ、文具紙工品、磁気関連製品、有機EL用水分除去シート、カーペット、壁装材、天井材、ブラインド、自動車内装用不織布・カーペット、フィルター、産業用ターポリン、テント地、雨衣、産業用不織布、容器密封用アルミ箔・蓋材、各種紙管紙器、パップ剤用フィルム加工、食品鮮度保持剤、接着芯地、ファンシー商品、商品等運送・保管他(グループ含む)



# 環境基本方針

## 【ダイニックの環境基本方針】

ダイニック株式会社は、環境保全への取り組みを重要な経営課題と認識し、国内外の環境関連法規制を遵守するとともに、環境負荷のより小さい製品を市場に提供していくことが製造メーカーとしての責任と考えている。その考えを具体的に実行するため、開発、資材調達、製造、販売、流通、及び廃棄のそれぞれの段階で、以下の項目を徹底推進する。

- (1) 製品のライフサイクルを通じ、事業活動のすべての段階で環境負荷を低減する。
- (2) 省エネ、廃棄物の減少に積極的に取り組み、環境汚染の防止に努める。
- (3) 有害な化学物質による環境を損なうリスクを予防する。
- (4) 環境に関する事業活動についての情報を開示し、地域社会と協調しながら、環境保全活動を積極的に推進する。
- (5) 環境保全に対する教育を徹底し、環境への意識向上を図る。

ダイニック株式会社  
代表取締役社長 大石 義夫

### ■環境負荷低減の取り組み

製品の設計段階から、環境負荷の少ない素材、再利用しやすい素材を考慮することはもちろん、エネルギー負荷の少ない製造方法や、省資源、長寿命化を考慮した製品設計を行なっています。製造段階では、日々の製造現場において、省エネルギー、廃棄物削減に努め、環境負荷低減に取り組んでいます。販売段階では、当社製品をご利用いただくことで、お客様の環境負荷が低減できる環境対応製品を提案し、地球環境保全に貢献する取り組みを行なっています。

### ■地球温暖化対策・生物多様性保全の取り組み

ダイニック全体で省エネルギー活動に取り組み、二酸化炭素の排出を削減することにより、地球温暖化対策を推進しています。また、生物多様性保全についても、地球温暖化対策等のリスクへの対応により、地球環境との共生を目指して取り組んでいます。



## ● 環境中期目標 ●

ダイニックでは環境中期目標（2018年度～2020年度）を設定し、推進していきます。  
環境中期目標（2018年度～2020年度）及び2018年度の目標値は以下の通りです。

### ● 環境中期計画(2018年度～2020年度)

取組項目		(単位)	基準年度	2018年度目標	2020年度最終目標
温暖化対策 省エネルギー	CO2排出量削減	(t-CO2)	2013年	5%削減	7%削減
	エネルギー 原単位の改善	(原油換算 ℓ/km)	2017年	1%改善	3%改善
省資源	水の使用量削減	(千t)	2017年	1%削減	3%削減
廃棄物の3R	廃棄物量の削減	(t)	2017年	1%削減	3%削減
	産業廃棄物最終 処分量の削減	(t)	2017年	1%削減	3%削減
環境汚染防止	PRTR対象化学 物質排出量削減	(t)	2016年	10%削減	20%削減
環境関連商品	対売上比率の向上	(%)	2017年	0.5%向上	1.5%向上

## ● 環境負荷低減の取り組みと実績 ●

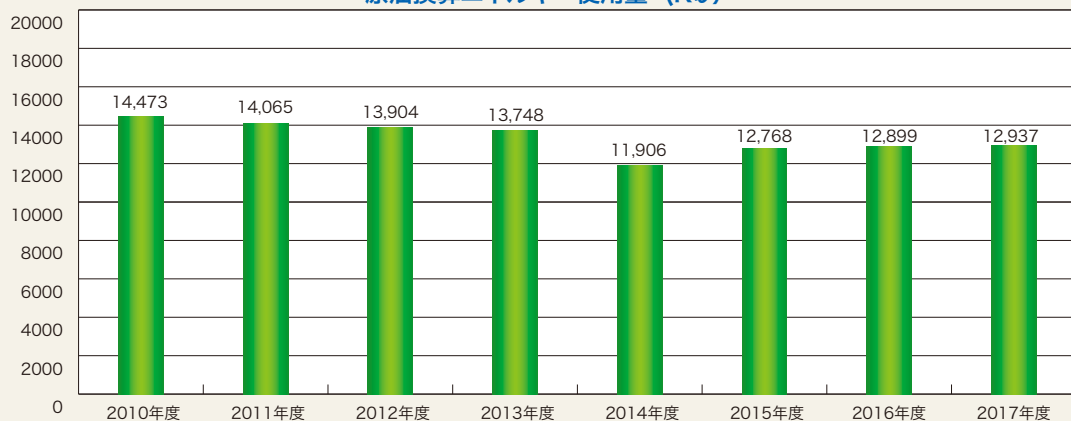
### 地球温暖化・省エネルギーの取り組み

生産活動ではエネルギーを消費し、製品を造りだしています。これに伴い、温室効果ガスであるCO<sub>2</sub>を排出します。CO<sub>2</sub>の排出削減を目的に、生産工程でのエネルギー使用量の削減に取り組んでいます。各種省エネ設備の投資として、工場天井照明のLED化、変圧器や空調機の高効率型への変更、コンプレッサーの集約による効率改善、事務所照明をLEDに変更等を計画的に実施しており、また設備の新設や改善などのエネルギー効率を良くする生産性改善も実施してきました。

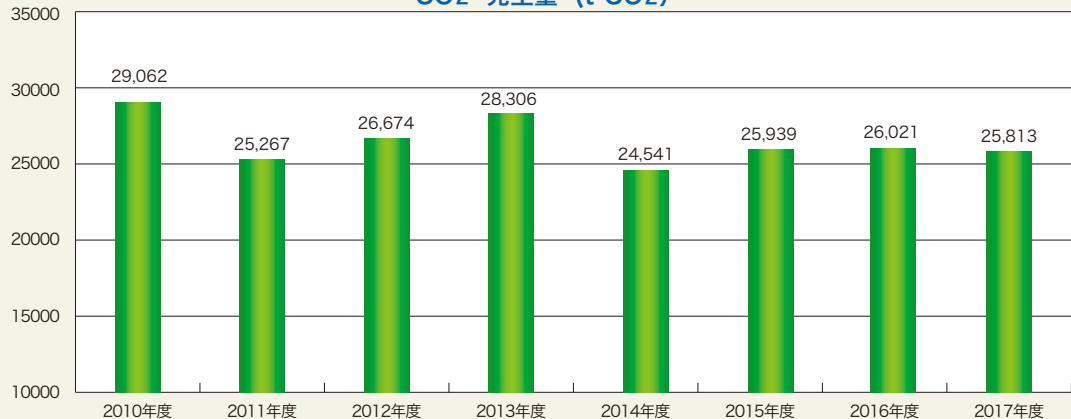
2017年度は生産量の増加を伴い、エネルギー使用量が前年度比0.3%増となりましたが、CO<sub>2</sub>排出量は前年度比0.8%減少、エネルギー原単位につきましては前年度比1%以上改善となりました。

2018年度も、生産性改善や省エネ設備投資をさらに進め、目標達成に向けて取り組んでゆきます。

原油換算エネルギー使用量 (Kℓ)



CO<sub>2</sub> 発生量 (t-CO<sub>2</sub>)



エネルギー原単位 (ℓ/km)



集計範囲の見直しを行い数値を変更しました。

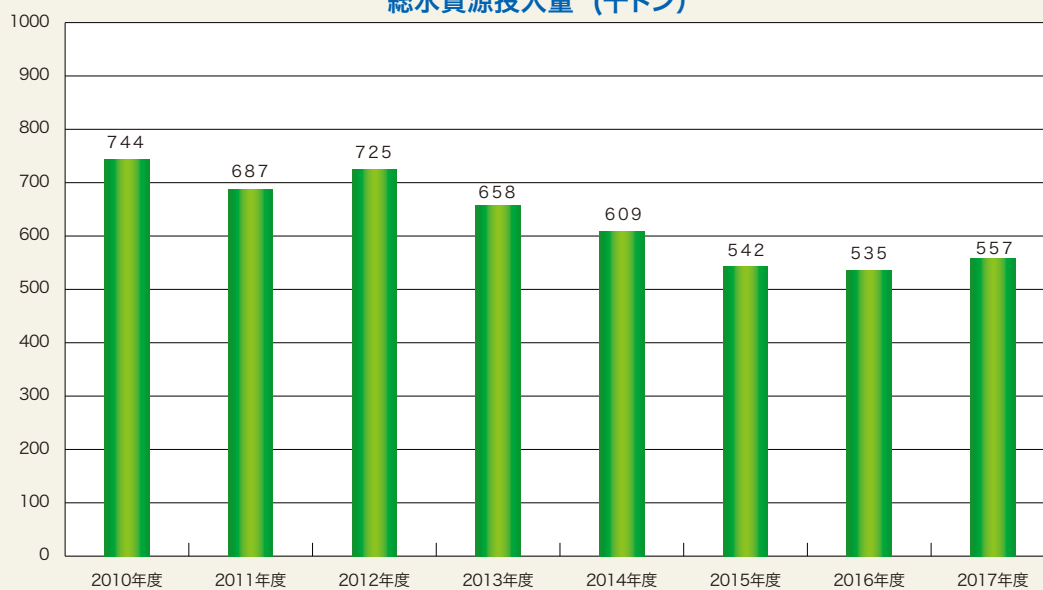
## 省資源・廃棄物削減の取り組み

### ●水資源の有効活用

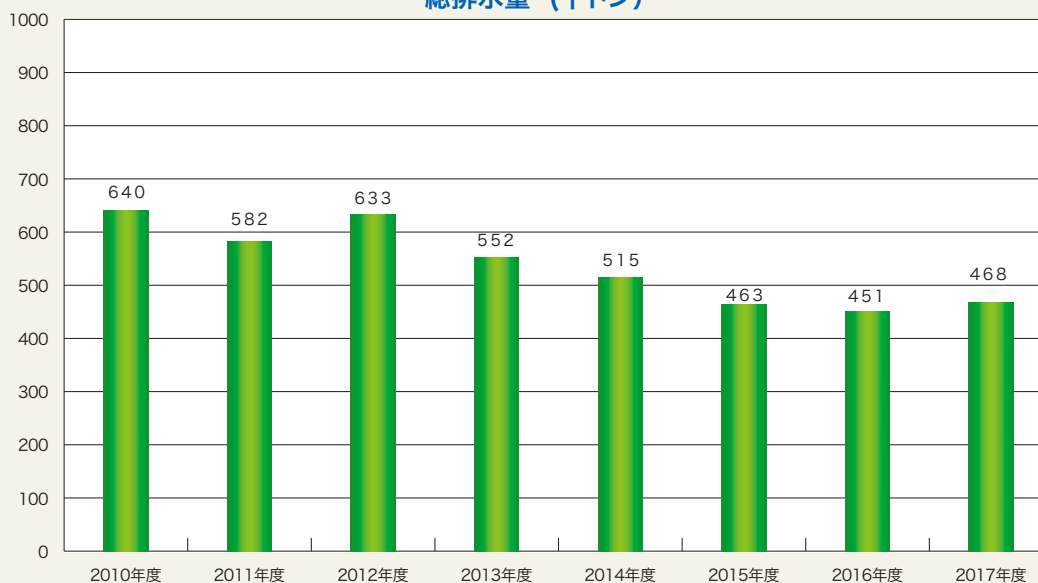
生産工程で使用する洗浄水や、冷却水などのリサイクルを推進し、水資源の有効活用に取り組んできました。

2017年度は埼玉工場の生産活動の増加に伴い、総水資源投入量が前年度比4.1%増、総排水量が前年度比3.8%増となりました。

総水資源投入量 (千トン)



総排水量 (千トン)





## ● 廃棄物削減の取り組み

地球環境保全のため、廃棄物削減に取り組んでいます。廃棄物の発生を抑えるだけでなく、資源の有効利用の観点から、リユース・リサイクルを進めてきました。

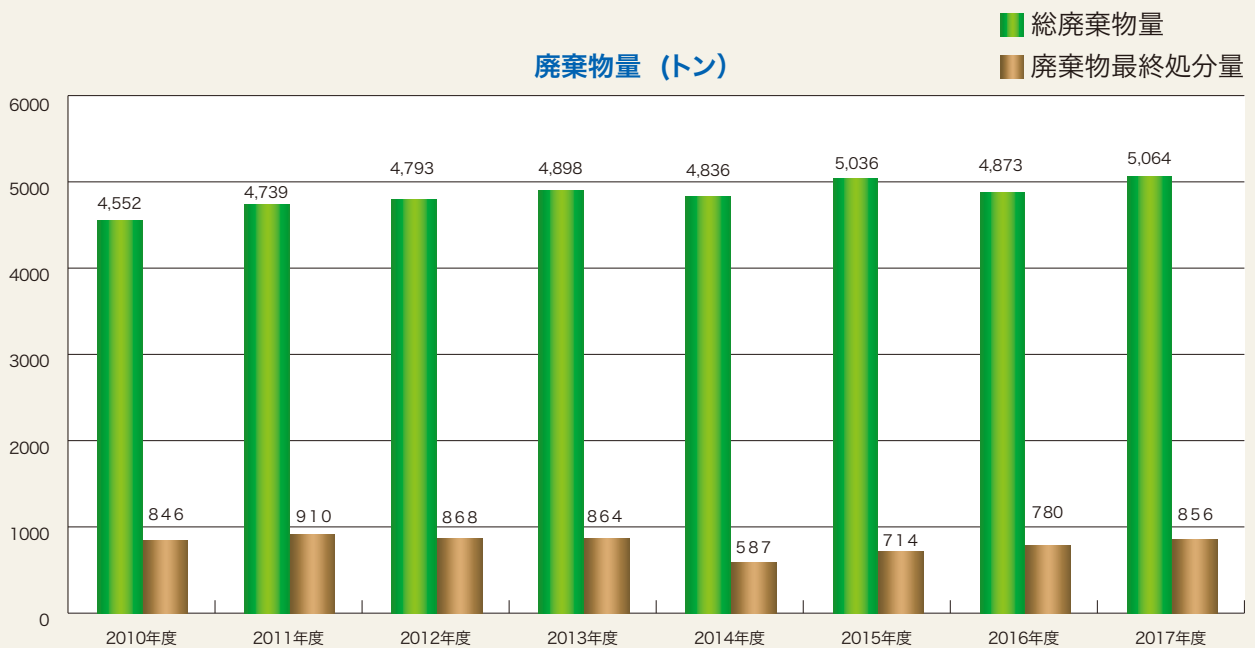
2017年度の総物質投入量は前年度比1%増の33,497トンでした。

いっぽう総廃棄物量は前年度比3.9%増、廃棄物最終処分量も前年度比9.7%増となりました。

総物質投入量 (トン)



廃棄物量 (トン)



## 化学物質排出削減の取り組み

化学物質排出把握管理促進法（PRTR法）に従い、製造工程で使用している化学物質の環境への排出量の届け出を行うとともに、削減に努めています。

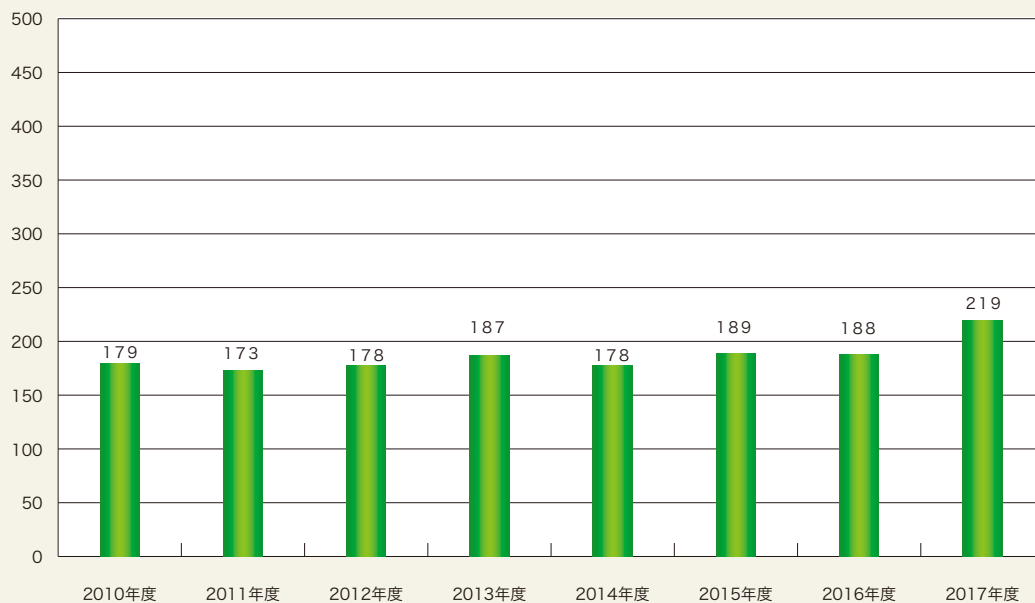
2017年度の排出量は前年度比6.5%減、移動量は16.5%増となりました。

埼玉工場に導入したVOC処理装置の効果で2年連続して排出量の大幅な削減となりました。

### PRTR総排出量（トン）



### PRTR総移動量（トン）



## 2017年度の事業活動における 環境負荷の全体像（マテリアルフロー）

ダイニクの企業活動・生産活動のために投入した原材料、エネルギー、水資源（INPUT）に対して、各種排出物（OUTPUT）から環境負荷を把握し、より効率的な事業活動によってさらなる資源の有効活用に取り組みます。



## 環境関連商品

ダイニック株式会社は社会の発展や、より豊かな暮らしの創造に貢献するさまざまな商品の開発に、鋭意取り組んでいます。そしてそのような新商品を社会に提供することが、事業を通じた社会への貢献につながるものと考えています。当社では、「地球環境と生活環境に配慮した商品」を環境関連商品と定義しています。

### 【地球環境に配慮した商品】

#### ■ 環境への負荷を低減した商品

##### ▶ 脱塩ビ・脱プラスチック・脱溶剤各種商品

非塩ビファイル（エコファイル）、オレフィン系クロス、紙製振り込みカード、EVA コンテナ、ファイル・バインダー・手帳用表紙クロス水性化等

##### ▶ 再生紙、再生繊維、再生樹脂を使用した各種商品

再生紙使用紙クロス、教科書用紙クロス、背貼り用紙クロス、※再生ポリエステル使用カーペット等  
※エコマーク接着芯地等

##### ▶ 持続可能な天然資源を使用した商品

※FSC 認証紙クロス（エパロン）、レーヨン100%カラー不織布（パネロンカラーシート）、PLA 車両内装材（生分解性樹脂使用）等

#### ■ 処理処分を考慮した商品

##### ▶ 廃棄のし易さを考慮した商品

ラップ・アルミホイルのカット用紙刃、乳飲料・紙蓋材等

##### ▶ 省資源・3R（Reuse,Recycle,Reduce）に貢献する商品

トナーカートリッジ再生、TTR リユース、詰替え用サブカセット、自動車天井内装材（軽量化）、有機EL 乾燥剤（長期使用性）等

### 【生活環境に配慮した商品】

##### ▶ 快適な空間を提供する商品

パネロン脱臭フィルター、抗菌消臭壁紙、マイナスイオン壁紙、抗ウィルス壁紙、空気清浄機用フィルター材、不織布床防音材等

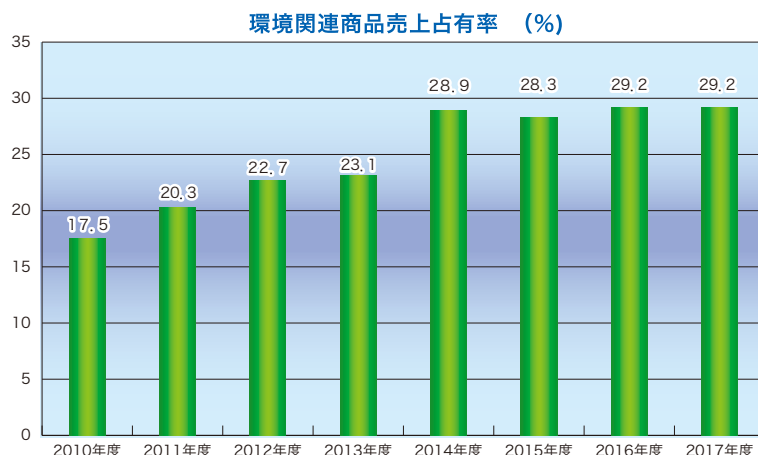
##### ▶ 健康・食品の鮮度保持に役立つ商品

耐水食品包材、食品鮮度保持剤、※ニックスセブン表示用ラベル（エコテックス登録）、パップ材の離型フィルム等

##### ▶ 抗菌・消臭を付与した各種商品

抗菌装丁用クロス、抗菌包装材等

※印の商品は第三者認証商品です



これら環境関連商品の個別の内容説明は、当社ホームページに掲載していますのでご覧ください。

当社は「環境関連商品で社会に貢献する」をキーワードに積極的に商品の開発を行ってきました。

その成果として、2017年度の環境関連商品の当社売上に占める比率は29.2%で前年と同じ高い数字になりました。

今後もさらに、環境関連商品売上占有率を上げてゆくことで、社会に貢献してゆきたいと考えております。

## 2017 年度環境活動

### 環境負荷低減のために ～省エネルギー設備導入～

#### ●高効率型ボイラー導入

王子工場の蒸気ボイラー3台を高効率型に更新しました。

従来より都市ガスを使用していましたが燃焼の多位置制御化により、一段と効率の良い運転が出来るようになりました。送風機もインバーター化して省電力で運転を行っています。

また低温燃焼により大気汚染の原因となるNOXやCO2の発生を低減しています。

(2017年10月更新)



#### ●高効率型空調機・冷凍機の導入

エネルギー使用合理化等事業者支援事業を活用し、滋賀工場へ高効率型空調機と冷凍機をそれぞれ更新導入しました。

本設備の導入により、原油換算で年間20klの消費削減を見込んでいます。

(2017年12月更新)



第一工場冷凍機更新



技術棟エアコン更新



## 2017 年度環境活動

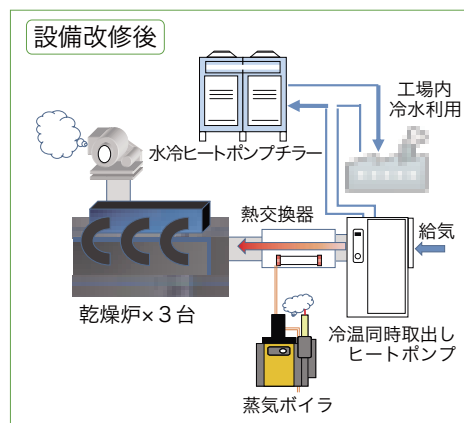
### 環境負荷低減のために ～省エネルギー活動～

#### ●ヒートポンプの生産工程への活用による省エネ改善で感謝状

2015年度に滋賀工場で設置した冷温同時ヒートポンプの活用により蒸気使用量削減と冷凍設備の電力消費抑制を実現しています。

この活動に対し一般財団法人ヒートポンプ・蓄熱センターより感謝状を頂きました。

(2017年7月)



(一財)ヒートポンプ・蓄熱センター制作の「COOL&HOT」より引用

#### ●CO<sub>2</sub>削減目標達成

埼玉工場では省エネルギー活動と同時にCO<sub>2</sub>排出量削減の取組みを行なっています。

埼玉県温暖化対策第1削減計画期間(2011～2015年度)の削減目標を達成しました。





## 2017 年度環境活動

### 環境負荷低減のために ～省エネルギー活動～

#### ● FEMSを導入

埼玉工場では、効果的に省エネルギー活動を進めるためFEMSを導入し消費電力の「見える化」を行っています。

現在の測定結果から重点取組み課題を洗い出し効率的な省エネルギー活動を推進します。

(2017年4月稼働)



#### ● デマンドコントローラー導入

滋賀工場では、夏場や冬場のピーク電力を抑えるため、デマンドコントローラーを設置しました。工場内にある65台のエアコン稼働を制御して電力を管理することで、消費電力を大幅に削減することが可能です。

(2017年12月導入)



## 2017 年度環境活動

### 地域とともに

#### ●ゴミゼロ清掃活動

滋賀工場の地元多賀町では、滋賀県が環境美化の日と定める5月30日（ゴミゼロの日）の前後に清掃活動を毎年行っています。

当社もこの活動に協力し、隣接する国道306号線沿いの環境美化運動を6月13日に実施しました。



埼玉工場では、地域の環境美化活動として隣接している県道14号線および工場周辺の清掃活動を毎月行っています。





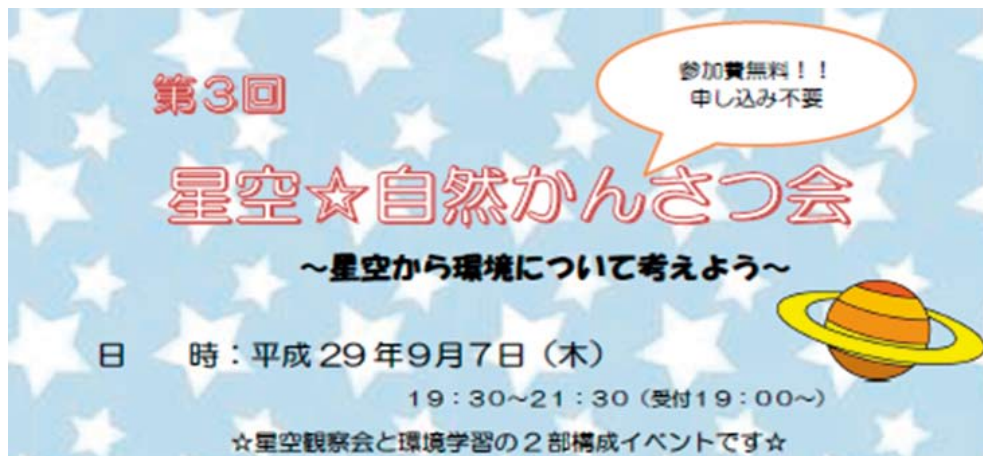
## 2017 年度環境活動

### 地域とともに

#### ●地域貢献

滋賀工場内にある天文台「ダイニックアストロパーク天究館」では、近隣住民の方々の他、多くの皆様に親しんでいただくことを目的として、天究館の天体望遠鏡を使用した観望会や、小型天体望遠鏡を各地へ運んで移動観望会などを行っています。

昨年度は、多賀町と共催で「星空☆自然かんさつ会」を3回開催し、多くの来場者でにぎわいました。



#### ●里山保全活動

早稲田大学本庄キャンパス・大久保山にて(公財)本庄早稲田国際リサーチパーク主催の落ち葉掻きに当社より4名が参加しました。

集められた落ち葉は堆肥化して畑で利用しています。





## 『環境報告書2018』

発行：ダイニック株式会社 環境推進室

発行日：2018年8月10日